

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム谷崎

作成日: 平成27年5月8日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	利用者様の現状を家族の皆さんへ伝える機会が少ない。 (面会に来ることができないご家族に対して)	月に一度、お手紙や写真、はがきなどで施設の取り組みや利用者の様子を伝える。	情報公開のための活動記録を、新人職員や若い職員の担当とし、各自デジカメなどの機器を使って担当する利用者の様子を記録する。	1ヶ月
2	54	利用者様の状態が重度化してきたので、異食や危険、不潔な行動が見られる。危険防止のため、部屋に何かを飾ったり、身の回りのものを置いておくことができない。	安全・清潔を第一に考えながら、何ができるかを検討し合う。	会議でアイデアを持ち寄り、検討して実行できることを探す。	1ヶ月
3	33	看取り、終末期の関わり	安全・清潔を第一に考えながら、何ができるかを検討し合う。職員全体で方針を共有し、支援できるようになる。	・参考資料収集し、本事業所独自の方針について検討を重ね、マニュアルを作成する。 ・医師や看護ステーションとの連携について相談する。 ・職員の学習会を実施する。 ・11月の家族会で、ご家族にも説明できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。